

# 開発×運用、両軸で向上させる自社サービスの信頼性 – Splunkで実現するObservability–

# macnica

株式会社マクニカ ネットワークス カンパニー

第2技術統括部 第1技術部 第1課

福元 廉

# まずは自己紹介から



福元 廉（ふくもと れん）

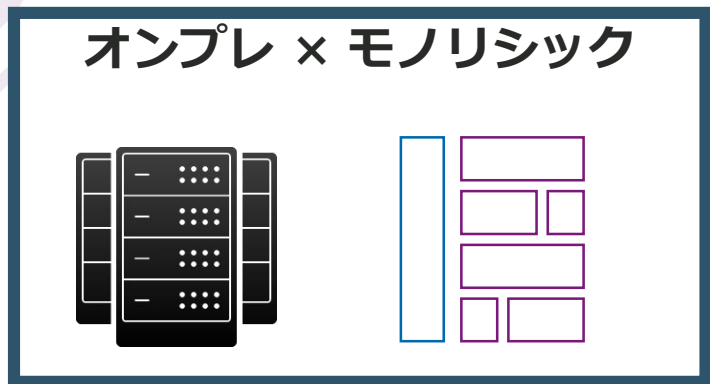
株式会社マクニカ ネットワークス カンパニー所属  
Splunk Architect

SplunkなどのSIEMを活用したセキュリティ運用やITオペレーション・Observability分野でのデータ活用支援が活動領域です。

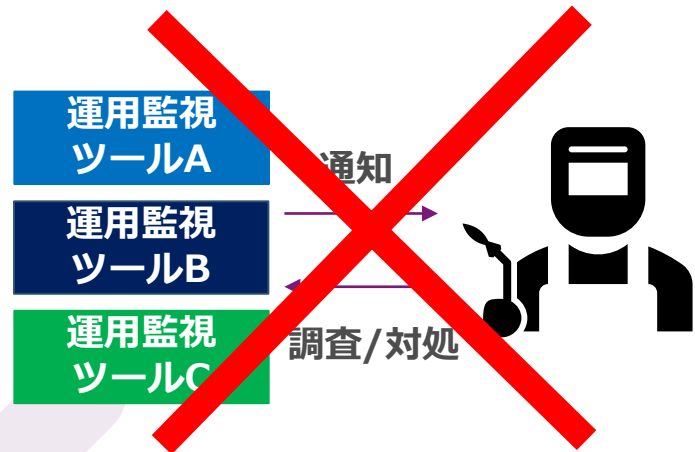
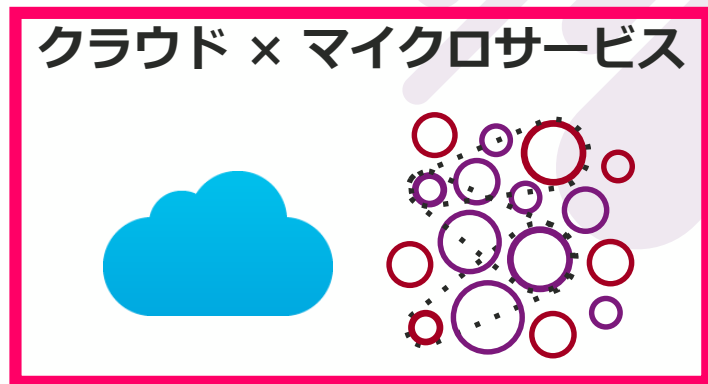
ユーザ環境の障害解析経験を活かし、最適なIT運用やDevSecOpsとは何かを日々模索し啓蒙活動を行っています。

最近ではSplunkと様々なツール/サービスを連携することで新たな可能性を探すのが個人的な楽しみです。

# Splunkで実現するObservabilityのコンセプト



クラウドシフト



運用/監視は  
どうあるべき？

統合監視ツールの使用

エンドツーエンドでの監視

全データの相関分析

# 私から本日皆様にお伝えしたいこと

開発/運用エンジニアの皆様が、両軸で自社サービスの信頼性を向上させるためのキーワード = Observabilityです。

Splunkで実現する業界唯一のObservabilityについて

# Agenda

1. Observability(o11y)とは？
2. Observability実現における課題には何がある？
3. Splunkで実現するObservability
4. デモ
5. まとめ

# 1. Observability(可観性)とは？

**MACNICA**

# Observabilityについて

『Observability : 観測可能性』とは、ソフトウェア、サービス、プラットフォーム、製品の品質を表す  
→いかに容易に且つ的確に事象を捉え観察して正確な対処につなげられるかの指標

- ① 何が起きているのか。
- ② どこで問題が起きているのか。
- ③ なぜ問題が発生したのか。

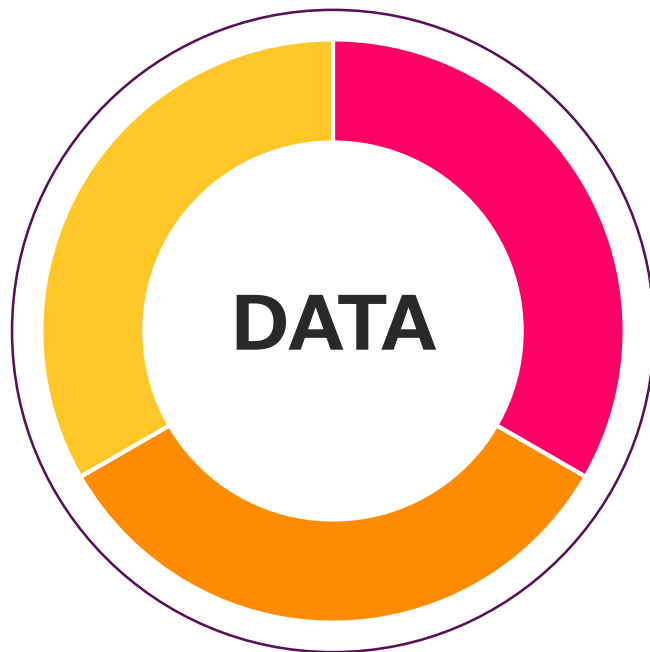


# Observabilityに求められるもの

全てのデータ ○

リアルタイム性と  
スケーラビリティ ○

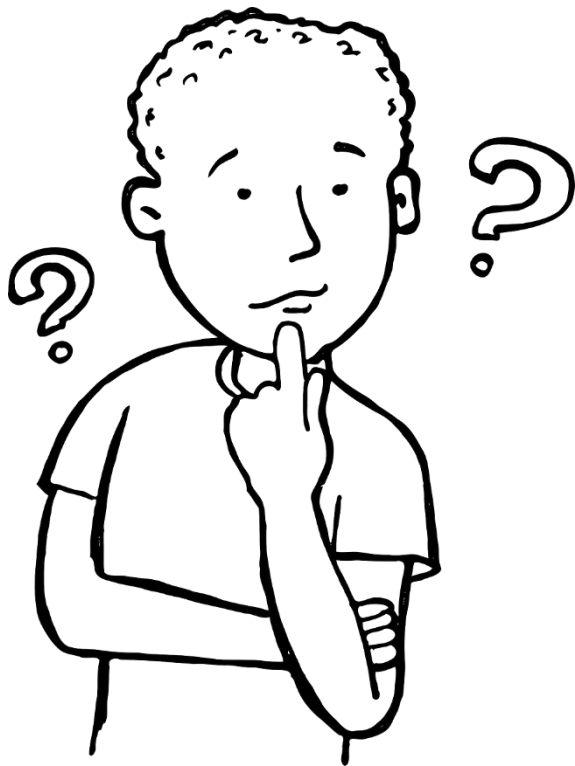
分析/ML ○



- ▲顧客体験
- ▲リリース品質と速さ
- ▲開発者の生産性
- ▲ビジネスへの適応性



# キーワード



## DevOpsとIT運用 その先にDX

# DXの実現にはDevOpsとObservabilityが不可欠

昨今のビジネス環境の激しい変化に対応していくには、データとデジタル技術を活用し顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革していくことで競争上の優位性を確立する、所謂「DXの実現」が重要となってきている。



ITサービスの開発/リリース速度を高めることで  
企業の競争力を高める（≒DevOps）

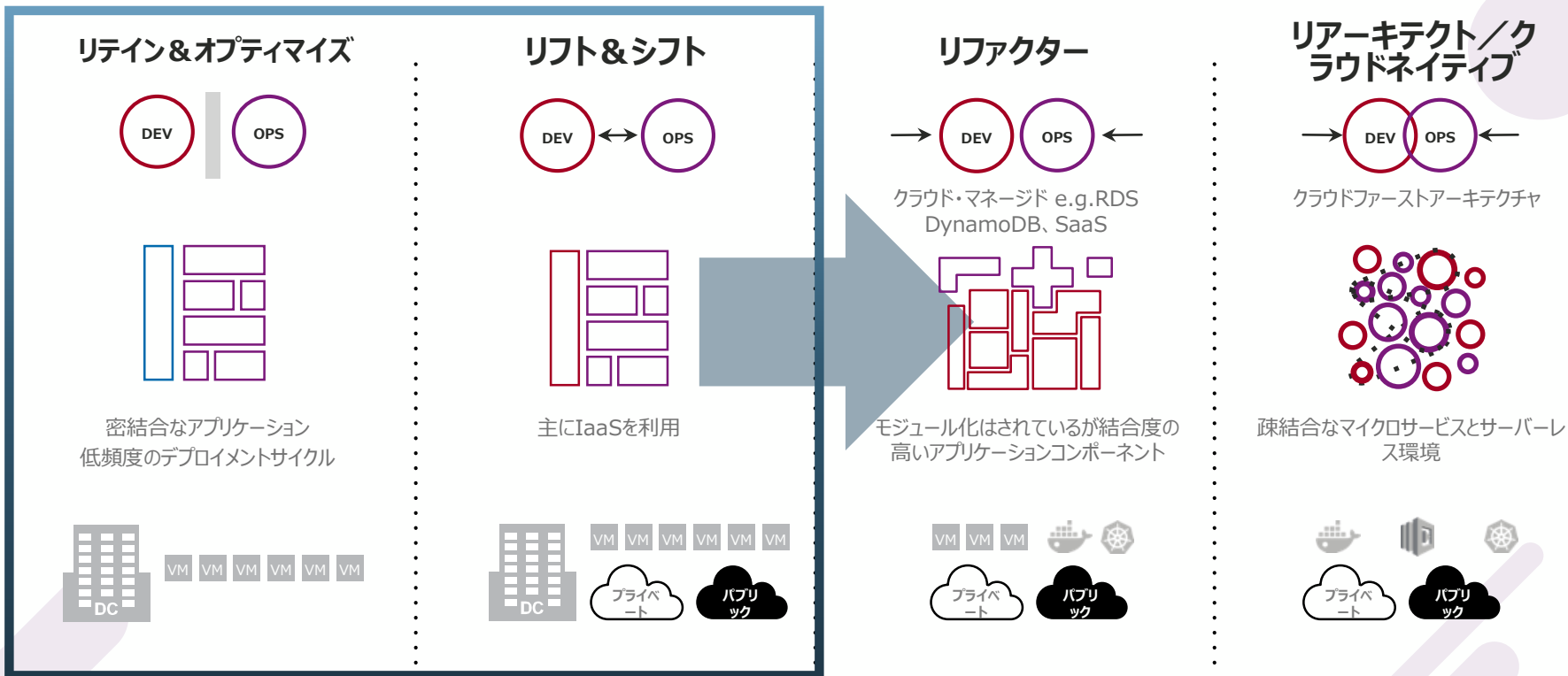
複雑なクラウドネイティブ環境において、予期せぬことが  
起きたときになぜそれが起きたのかを把握する  
（≒Observability）

## 2. Observability実現における課題には何がある？

**macnica**

# 多くの企業がクラウドシフトを押し進めている

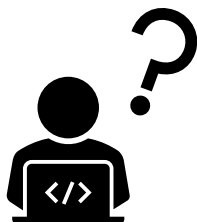
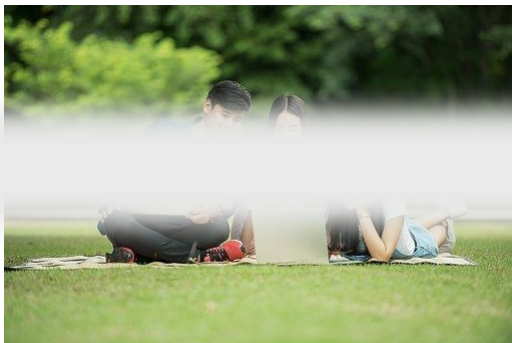
DXに必要なスピード、敏捷性、信頼性をえるために



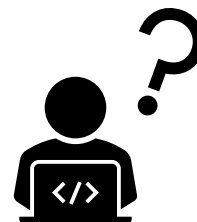
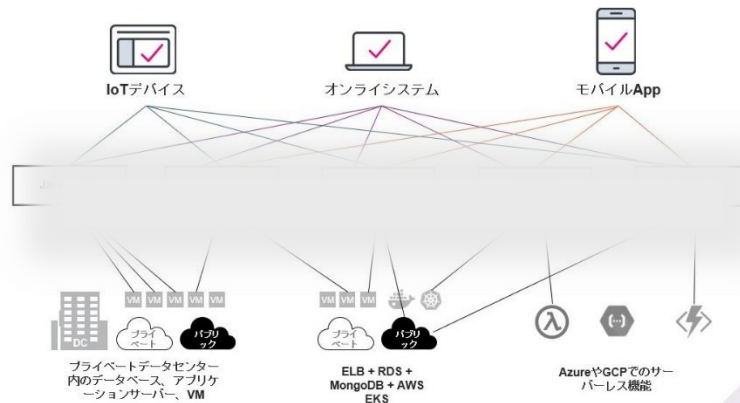
# 現状の監視体制では把握しきれない複雑化するITシステム

DXを進める企業において、IT運用はシステムの構成を把握し、未知のイベントが起こっても対処できることが求められる

## Deploy 満足度が見えない



## Operation システムが把握しきれない



# DevOpsの中での監視の重要性



# なぜObservabilityが重要なのか

コンテナ/マイクロサービスを採用することで、**伸縮自在な環境を実現**  
どこで何が動いているかが**不明確**なため、**Observability**という技術が登場

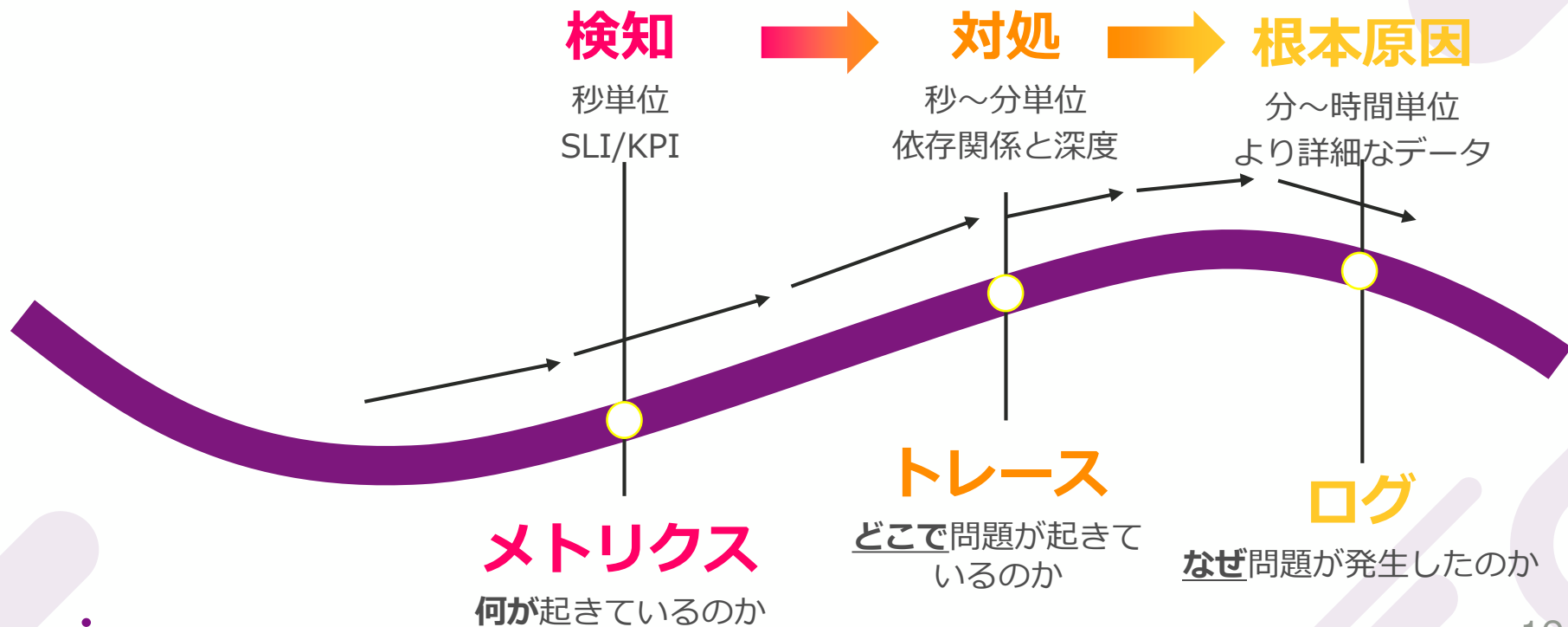
EX)



Observability技術によって複雑かつ動的な環境においても  
**「予期せぬことが起きたときになぜそれが起きたのかを把握すること」**が可能に

# Observabilityの3本柱

メトリクスで「何が起きているか」を秒単位で検知し、「どこで問題が起きているのか」をトレースで判別、「なぜ問題が発生したのか」をログから究明するというように、各データが相関づけられて連携することでObservabilityのための活用へとつながります。





# Observabilityの重要性

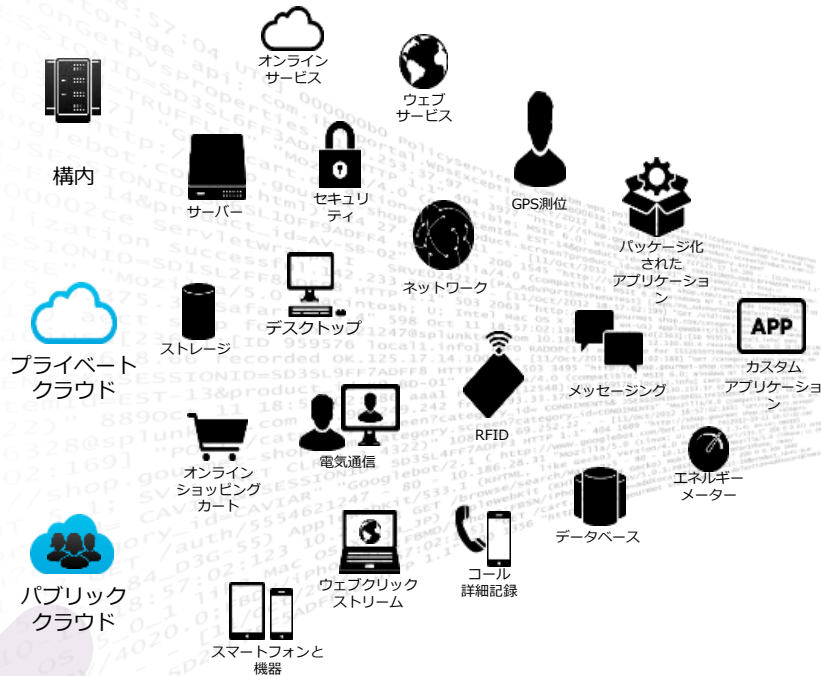
**Observability = DevOpsにおける  
運用の最適解**

# 3. Splunkで実現するObservability

**MACNICA**

# そもそもSplunkとは？

- Splunkはデータ分析用のソフトウェアであり、様々なテキストデータを取り込み、
- 検索、監視、分析、可視化することが可能。



**splunk**®  
turn data into doing™

アプリケーション管理

IT運用管理

セキュリティ、コンプライアンス、不正防止

ビジネスアナリティクス

IoT

# そもそもSplunkとは？



SplunkはObservabilityにも利用可能！

の？

# Splunkで実現するObservability

フルスタックかつエンドツーエンドの観測を可能にする唯一の製品

監視対象（バックエンド、フロントエンド）を  
統合的に観測することが可能に！

Splunk  
Synthetic Monitoring

Splunk  
Infrastructure  
Monitoring

Splunk APM

Splunk  
On-Call

Splunk  
Real User Monitoring

Splunk  
Log Observer

# 何がメリット？

## 従来のモニタリングソリューション



# SplunkでObservabilityを実現する場合

顧客が直面する課題をすべて浮き彫りに  
フロントエンドからバックエンドまでの全てを可視化

## Splunk Observability Solution

フロントエンド

バックエンド

### Splunk IT Service Intelligence (ITSI)

すべてのインフラ、アプリケーション、ビジネスプロセス

Webユーザー



フロントのデータとバックのデータの結合  
真のエンド・ツー・エンドを実現



モバイルユーザー



オンプレミスサーバー



クラウド



ネットワーク



VM



コンテナ



サーバーレス

Splunk APM  
コード  
アイリング

Splunk Infra  
Monitoring

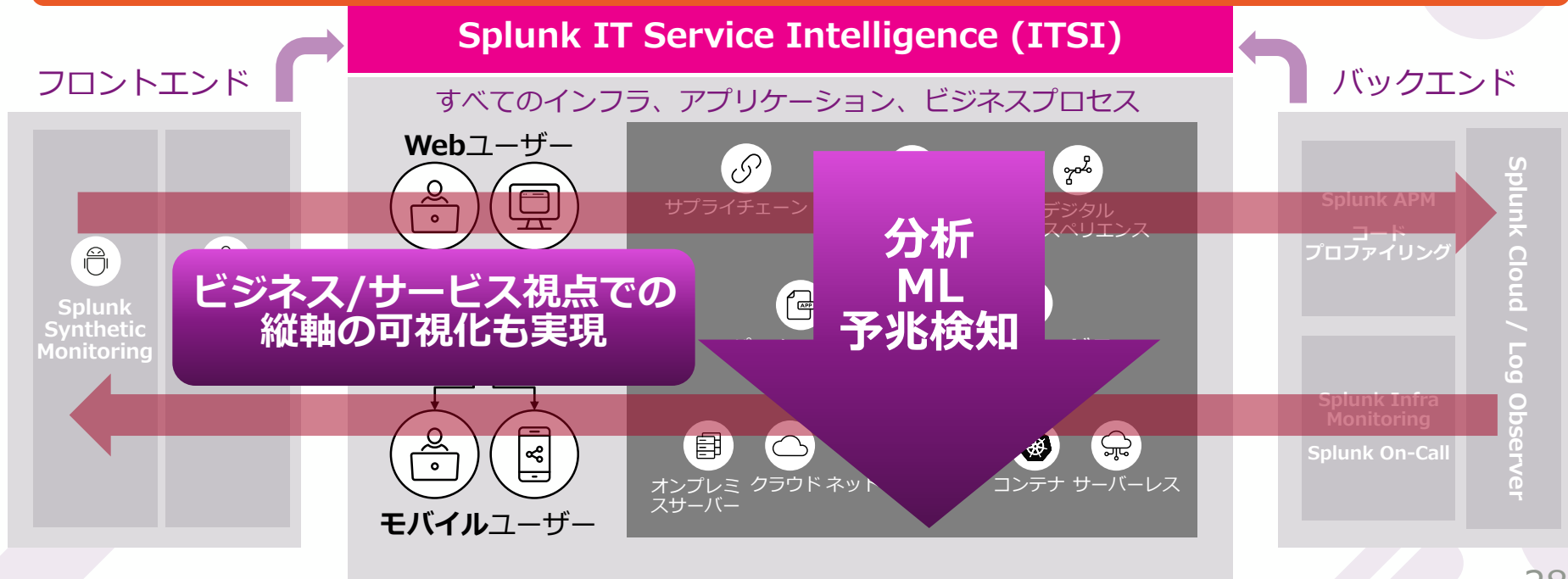
Splunk On-Call

Splunk Cloud / Log Observer

# SplunkでObservabilityを実現する場合

顧客が直面する課題をすべて浮き彫りに  
Splunkだからできる統合ソリューション

## Splunk Observability Solution





# 4. デモ

**MACNICA**

# 5. まとめ

**MACNICA**

# 本セッションのまとめ

ビジネス環境の激しい変化に対応/勝ち抜くために、「開発/リリース速度を高め企業の競争力を高めるDevOps」と「何が、どこで、なぜ起きたのかを把握するObservability」の両方の実現が不可欠である。

「Splunk Observability」によって「エンドツーエンド」で「統合的」に「全データを相関付けた」運用/監視を行うことが重要である。

最後に皆様へメッセージ

Cloud Nativeな環境におけるIT運用の最適解

⋮

**“Splunk Observability”**

**Splunk Observabilityと共にこれからのビジネスを  
乗り越えていきましょう！**

## お問合せ

ご清聴ありがとうございました。

【本件についてのお問合せ先】

株式会社マクニカ ネットワークス カンパニー

第2技術統括部 第1技術部 第1課

福元 廉

Mail : [splunk-sales@macnica.co.jp](mailto:splunk-sales@macnica.co.jp)

URL : <https://www.macnica.co.jp/>

# Appendix

**MACNICA**

# 無償Trial版サインアップ方法

本日ご紹介させていただいた各種製品には、無償でお試しいただけるTrial版のご提供もありますので、よろしければご利用ください。

## ○Splunk Synthetic Monitoring (Webサイト等の外形監視)

1. [https://www.splunk.com/ja\\_jp/software/synthetic-monitoring.html](https://www.splunk.com/ja_jp/software/synthetic-monitoring.html)にアクセス
2. 【無料トライアル版】をクリック。
3. 必要情報を入力後、メールが届くので、セットアップを続ける。

### Splunk Synthetic Monitoring

最高レベルの合成モニタリングでデジタルエクスペリエンスを向上

無料トライアル版

デモを見る (英語)

## ○その他のフロント/バックエンド監視製品(インフラ/アプリ監視)

1. [https://www.splunk.com/ja\\_jp/observability.html](https://www.splunk.com/ja_jp/observability.html)にアクセス。
2. 【無料トライアル版】をクリック。
3. 地域を選択し、【次へ】をクリック。
4. 必要情報を入力後、メールが届くので、セットアップを続ける。

SPLUNK OBSERVABILITY CLOUD

## あらゆる規模の複雑さを克服

OpenTelemetryに対応した分析主導型の包括的なオブザーバビリティクラウドツール、Splunk Observability Cloudで、問題をすばやく解決

無料トライアル版

ビデオを見る

# アンケートへのご協力をお願い

アンケートご回答いただいた方へ本セッションでの投影資料を進呈いたします。

本日はご多忙の中、弊社セッションにご参加いただき誠にありがとうございました。

本アンケートはお客様の貴重なご意見やご要望をもとに、今後のセミナー内容への反映、および継続してより良いサービスのご提供をさせていただくために実施しております。

大変お手数ではございますが、差し支えない範囲でご協力をお願い申し上げます。

アンケート回答期限：3月18日（金）17時まで

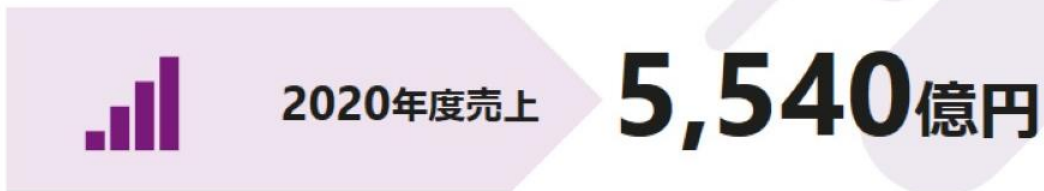
回答所要時間：約 5 分

QRコードご利用の方はこちら→

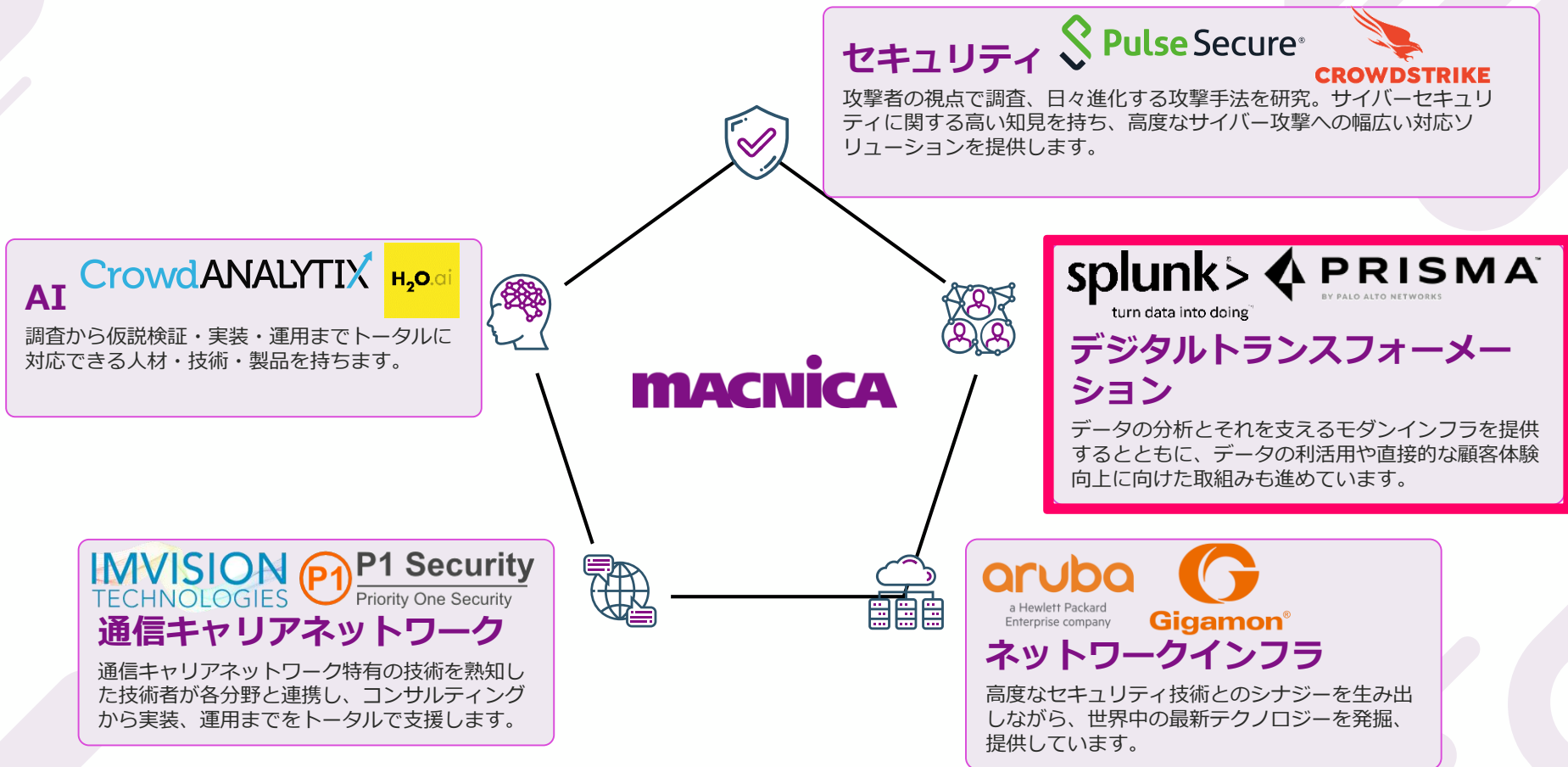




# マクニカ概要



# マクニカ概要-ネットワーク・セキュリティ事業



# Co.Tomorrowing macnica

- 本資料に記載されている会社名、商品またはサービス名等は各社の商標または登録商標です。なお、本資料中では、「™」、「®」は明記しておりません。
- 本資料のすべての著作権は、第三者または株式会社マクニカに属しており、（著作権法で許諾される範囲を超えて）無断で本資料の全部または一部を複製・転用等することを禁じます。
- 本資料は作成日現在における情報を元に作成されておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。